

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 11 日(2024.7.11)

【公開番号】特開 2024-87656(P2024-87656A)
【公開日】令和 6 年 7 月 1 日(2024.7.1)
【年通号数】公開公報(特許)2024-121
【出願番号】特願 2022-202590(P2022-202590)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 7 月 3 日(2024.7.3)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値とに基づいて算出される所定値が特定
値に達したか否かを判定する判定手段と、

前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不
能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

前記遊技不能状態にて消費電力を抑制することが可能な省電力化手段と、
を備え、

30

前記省電力化手段は、前記遊技不能状態中に複数の遊技部品の消費電力を抑制する手段
であり、少なくとも第 1 遊技部品の消費電力を遊技進行中よりも低下させた後に第 2 遊技
部品の消費電力を遊技進行中よりも低下させうる手段であって、

さらに、前記第 1 遊技部品および前記第 2 遊技部品の消費電力を低下させた場合であっ
ても、当該遊技機に設けられる特別発光体は遊技進行中と同様の輝度で発光可能とされ、
さらに、前記省電力化手段による消費電力の抑制は所定の遊技者動作が行われても終了
しないものであり、

さらに、前記遊技不能状態では、前記第 1 遊技部品および前記第 2 遊技部品の消費電力
が低下しているか否かに拘わらず、前記遊技不能状態であることを示す特定表示を行うこ
とが可能である

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 5】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、遊
技機の管理の適正化を図ることが可能な遊技機を提供することにある。

50

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値とに基づいて算出される所定値が特定
値に達したか否かを判定する判定手段と、

10

前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不
能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

前記遊技不能状態にて消費電力を抑制することが可能な省電力化手段と、
を備え、

前記省電力化手段は、前記遊技不能状態中に複数の遊技部品の消費電力を抑制する手段
であり、少なくとも第1遊技部品の消費電力を遊技進行中よりも低下させた後に第2遊技
部品の消費電力を遊技進行中よりも低下させうる手段であって、

さらに、前記第1遊技部品および前記第2遊技部品の消費電力を低下させた場合であっ
ても、当該遊技機に設けられる特別発光体は遊技進行中と同様の輝度で発光可能とされ、

さらに、前記省電力化手段による消費電力の抑制は所定の遊技者動作が行われても終了
しないものであり、

20

さらに、前記遊技不能状態では、前記第1遊技部品および前記第2遊技部品の消費電力
が低下しているか否かに拘わらず、前記遊技不能状態であることを示す特定表示を行うこ
とが可能である

ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

30

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このように、本発明によれば、遊技機の管理の適正化を図ることが可能な遊技機を提供
することができる。

40

50